

まことの礼拝をする者たちが、
霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。
今がその時である。(23)

ヨハネによる福音書 4章 16～26節

「霊と真理をもって」



カラッチ「キリストとサマリアの女」

あなたがたは知らないものを礼拝しているが、
わたしたちは知っているものを礼拝している。(22)

神は霊である。

だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。(24)



聖書協会共同訳聖書

「9 イエス時代のパレスティナ」

シカルスの町：ゲリジム山とエバル山に挟まれて
(日本聖書協会ホームページより)



この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。(21)

ゲリジム山の神殿跡



清水 恵三

しみず・けいぞう

1931～1987年

元・日本キリスト教団の牧師。

信濃村伝道所、三鷹教会で牧会。

農村伝道神学校の教師、校長代理も

務めた。

それだけが原因だと、確信に満ちて言いすぎる宗教的表現は危険信号と思ったらよいでしょう。人間が神さまになりかわったような態度や言葉を示す時は、頼もしいようにみえて、まやかしいのです。

信仰は単に知性を働かせるようなものではないが、しかし、信仰上の誤りの極めて多くがまさに知的な怠惰^{たいだ}に起因している。— 20世紀前半の著名な新約聖書学者、E. F. スコット

わたしは 自分が信頼している方を知っている。(使徒パウロ、テモテへの手紙二 1 章 12 節)

それは、あなたと話をしているこのわたしである。(26)

さあ、見に来てください。わたしが^{おこな}行ったことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。(サマリアの女性、4:28~29)

.....

〔4章24節〕

神は^{れい}霊なれば、拝する者も^{まこと}霊と真とをもて拝すべきなり。 — 文語訳聖書

神は霊であるから、神を礼拝する者も、霊とまこととをもって礼拝すべきである。

— 口語訳聖書

神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。

— 新共同訳聖書

神は霊である。そして 神を礼拝する人々は霊と真理のうちにあつて礼拝しなければならない。

— 岩波訳聖書

神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真実をもって礼拝しなければならない。

— 聖書協会共同訳聖書